

ひろしま神楽 定期公演 2026 6月10日



本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
 当公演では、全てのお客様に気持ちよく安心して神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 会場内での**飲食は禁止とさせていただきます。**
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様は舞台の前に出られると、演出等で危険な場合がございます。保護者の方は、お子様から目を離さず、着席での鑑賞をお願いします。
- (4) 客席内すべてのお席で写真・動画撮影が撮影可能です。下記および右記のルールを守って撮影してください。(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)
※ビデオカメラなどを使用した動画撮影やフラッシュ・三脚などを使用した撮影は禁止どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影について

以下の禁止事項を遵守し、周囲の方へご迷惑とならないようご配慮の上撮影をお願いいたします。

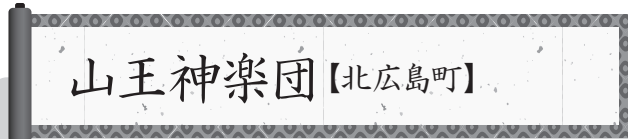
スマートフォン・携帯電話を使用している動画撮影が可能です。ただし、インターネット・SNS等で合計2分以上公開することは禁止いたします。

禁止事項

- ビデオカメラ・フラッシュ・三脚・一脚を使用した撮影
- 撮影された画像・動画の**営利目的での使用**および**2分以上の公開**

#hiroshimakaguraを付けてSNSに写真を投稿しよう！

ひろしま神楽の魅力を発信してください！！



明治中期に地元、山末神社氏神祭に神楽を奉納するため、神社周辺の人々によって「下本地神楽団」として発足した神楽団は、昭和25年、神社に奉られている「山王権現」の名を頂き「山王神楽団」となり、現在にいたります。

練習の都度、あるいは公演の都度「演技の粋をかたむけて」を目標に、芸の習得に取り組み、伝承・保存に努めております。

この度は、ひろしま神楽定期公演に参画させていただき、本日は、神楽団の郷土芸能の一端を披露させていただく事となりました。この公演に携わった方々に感謝し、みなさまと共に楽しい時を過ごせればと思っております。本日は、よろしく願いいたします。

大江山 おおえやま

平安中期、一条天皇の御代、酒呑童子(しゅてんどうじ)という鬼人が数多くの手下を従えて丹波の国大江山という千丈ヶ岳を住处とし、都に現れては庶民を悩ます悪行を重ねていました。

源頼光(みなもとのらいこう)は帝から大江山の鬼人征伐の勅命を受け、四天王を引き連れて石清水八幡、住吉明神、熊野権現の三社の社に参拝し、大江山へと向かいます。その道中に三社の使いを名乗る三世ヶ詫が現れ、人が飲むと千人力となり鬼が飲むと変じて毒となる神酒「神変鬼毒酒」を頼光に授けます。

三世ヶ詫の教えにより山伏修験者に身を変えた一行は、大江山の山中で童子に取り去られた紅葉姫に出会い、童子の岩屋へ案内を頼みます。岩屋についた一行は、童子らに一夜の宿を願い出るが、これを怪しむ酒呑童子との激しい問答の末、一夜の宿を許され、持参した神酒を酒宴の際に振る舞います。童子らが酔い伏したのを見計らい、激しい戦いの末、見事に討ち取るという物語です。

大	太	鼓	一	田	坂	真	吾
小	太	鼓	一	神	川	誉	将
手	打	鉦	一	竹	内	陸	
	笛		一	川	本	喜	美代

源	頼	光	一	前	翔	太
渡	辺	綱	一	中	田	賀
坂	田	金	時	一	森	岡
紅	葉	姫	一	霜	江	勇
酒	呑	童	子	一	井	上
茨	木	童	子	一	芳	信
唐	熊	童	子	一	江	田
三	世	ヶ	詫	一	片	岡
						英
						昭

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。

助成：一般財団法人地域創造

神楽門前湯治村 定期公演 2025
 コラボ企画
 お湯よし。宿よし。神楽よし。

その半券捨てないで!!!
お得な特典!
 「ひろしま神楽定期公演」の半券を神楽門前湯治村に持っていくと
 入浴施設・岩戸屋の入浴料¥100割引
 神楽門前湯治村で観覧される定期公演(大会を除く)の半券を「ひろしま神楽定期公演」に持っていくと
 当日券入場料 ¥100割引
 ※2025年12月31日まで有効

アンケートにご協力ください!

ひろしま神楽定期公演では皆様のご意見やご感想を今後の参考にさせていただくためにアンケートを実施しております。QRコードをスキャンし、アンケートへご回答ください。ご協力よろしくお願いいたします。



こちらからご回答ください